

用語・定義集

用語・定義	説明
新しいタイプの図書館機能	後述の従来型の図書館機能以外の機能。新県立中央図書館では、交流スペースに設置する各種ラボ機能、多目的ホールなどが該当する。他の図書館事例では複合施設機能として別に設けられていることもあるが、新県立中央図書館では従来型機能と一体的に運用していくことを想定し、新しいタイプの図書館機能と定義づけしている。
交流スペース	新しいタイプの図書館機能の1つとして設置予定の場。詳細は、新県立中央図書館整備事業設計業務委託要求水準書を参照
ソフトインフラ	新県立中央図書館では、図書館法や条例で定められる制度や運用基準、テクノロジーの活用とその運用ノウハウ、人材やその育成方法など、従来型の図書館機能及びハード整備以外に関わる全てのことを、ソフトインフラとして定義づけしている。
従来型の図書館機能	静岡県立図書館で現在行われている図書館サービス機能のこと。主に資料の収集、整理、保管、配架、貸出など。新県立中央図書館では、一部業務の委託等を除き、直営で運営することを想定している。
民間運営者	交流スペースについては、業務委託や指定管理者制度の適用を含め、民間活力を活かした運営を検討している。
1施設1機能複数運営者	(一般的な複合施設のように、1つの施設に複数の機能があり、それに対応した複数の運営者がいる形ではなく、)新県立中央図書館では図書館という1つの施設に、従来型図書館機能と新しいタイプの図書館機能が個別に存在するのではなく、1つに融合させ、それを複数の運営者が協力・連携して運営する形態を目指している。

情報システム	民間運営者が交流スペース等を運営する上で必要な、施設管理や業務管理、人事管理などの管理システム。
デジタルサイン発信システム	新県立中央図書館では、館内全体を一般的なサインに加え、館内案内等についてデジタルサイネージ等によるデジタルサインを行うことを計画している。デジタルサイン発信システムは、直営と民間運営者が共用する、デジタルサインを操作・表示・コンテンツの作成などを行う統合システム
情報発信コンテンツ	デジタルサイン発信システム等で管理するデジタルサイネージのうち、情報発信コーナーなどで提供する動画などのコンテンツ。新県立中央図書館で行うイベントやデジタルアーカイブ資料の紹介ほか、県政情報、県内情報などを発信するコンテンツの総称
ペDESTリアンデッキ	JR 東静岡駅と新県立中央図書館をつなぐ歩行者用通路。現在の設計では、新県立中央図書館の3階北側とJR 東静岡駅の東静岡駅南北自由通路の南口側西面をつなぐ予定。
PA スタッフ	音楽ラボでは、本格的な音楽の演奏に加え、その編集機能も持った電気音響設備も備える予定であり、それを用いて公衆伝達 (Public Address) を行う技術スタッフのこと。
DX	デジタル・トランスフォーメーションのこと。新県立中央図書館の整備にあたり、「新県立中央図書館DX報告書」を作成しているので、詳細はそちらを確認すること。
BI ツール	Business Intelligenece Tool のこと。業務システム等に蓄積されたデータを分析および可視化するためのツールで、交流スペース等の運営、イベント結果の分析、利用促進等で使用されることを想定。